

「かけがえのない9日間」

下吉田中学校 竹田 沙樹

8月1日不安と緊張を抱えたまま市役所に向かいました。これまでたくさんの事前学習会を通して、コロラドスプリングス市についての事やお金の使い方などを学ぶことが出来ました。学ぶことが出来たといっても完璧に覚えそれが活かせるかと言われたらまだまだ分からないことだらけでした。出発の時間になると保護者そして学校の先生方や市役所の方が笑顔で元気よく手を振ってくださる姿に心を打たれ、「より一層頑張ろう」と決心しました。

約四時間バスの中で過ごし成田空港に着き中に入っていくとあまりの広さに圧倒されました。私自身初めての飛行機、初めての海外だったこともあって少し不安でしたが無事に飛行機に搭乗することができ約十時間という長い時間を飛行機内で過ごしました。飛行機内では自分が見たい映画を見たり、睡眠をとったりと自分のしたいことが出来てとても充実した十時間でした。そして長い時間の搭乗を終え実際に現地に着くと広い土地に綺麗な自然に目を奪われました。

派遣団のみんなとはコロラド大学でコロラド大学学生とピクニックやオリンピックミュージアムに行ってこれまでのオリンピックの歴史について学ぶことが出来ました。他にも沢山の場所に行きましたが、その中で最も印象に残ったことは、南コロラド日米協会バーベキューです。私たちは全員で「ソーラン節」を踊りました。また、各グループに別れてそれぞれ、「あやとり」「お手玉」「書道」「けん玉」を披露しました。ソーラン節では各校ごとで振りが違いましたが一つの学校に統一し少しバラバラな所がありましたが全員が楽しんで踊ることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。また各グループの発表ではその特徴などをしっかり伝えることが出来てよかったです。最高の思い出となりました！

そして緊張していたホームステイ。私たちの名前を書いてくれた紙で出迎えてくれました。その瞬間緊張と不安が一気に吹きとんで楽しみな気持ちでいっぱいになりました。それはホストファミリーが笑顔で温かく出迎えてくれたからに違いありません。また、ホストファミリーが沢山話しかけてくれたおかげで徐々に慣れていくことが出来ました。一緒に食事を取ったり一緒に卓球したり、映画やトランポリン沢山の思い出を作ることが出来ました。ホストファミリーと買い物に行った時には丁寧に商品の説明をしてくれたりする姿を見て改めて現地の方々の優しさに感動しました。ホストファミリーデーでは風の洞窟やプールに行きました。そこでもたくさんの方と楽しく話すことが出来てとてもうれしかったです。

最後に私は派遣団としてコロラドへ向かう前に「友達を作りたい」「コロラドスプリングス市の文化を学び、日本の文化を伝える」という目標をたて出発しました。沢山の方とコミュニケーションをとることができ、友達も作ることが出来ました。またいろんな方に教えてもらいながらもコロラドの文化について学ぶことが出来ました。ここまで、最高な9日間を送ることが出来たのは家族が支えてくれたこともそうだし、学校の先生方、市役所の方々の支えがあったからだと思います。

この感謝を忘れずにこれからの富士吉田市に貢献できるように頑張ります。最高な9日間を計画していただき本当にありがとうございました！！この9日間は一生の思い出です！